

●『星空観察会』が開催されました

8月31日(土)、田柄小学校にて、練馬の星空を楽しむ会ご協力のもと、PTA サークルおやじの会主催、夏の「星空観察会」が開催されました。
夏休みの最後にお友達と星空を見ようと、体育館にはたくさんの子供たちが集まりました。



はじめに、プラネタリウムを見ながら、色々な星座の説明をしていただきました。
大画面で見るきれいな星に、子供たちは興味津々。
次々とスクリーンのほうへかけ寄り、星空の世界に見入っていました。





りんごを使った、楽しい説明もしていただきました。
自分たちの地球と比べて、太陽がこんなに大きいんだということに、子供たちは驚きました。
土星のまわりには輪があって、おもしろい形をしていることも分かりました。



次はいよいよ星空観察です。
おやじの会のみなさまが準備してくださった「ほしぞらのちず」を持ち、子供たちが外に集まりました。
校庭に並ぶ、何台もの大きな天体望遠鏡にわくわくしました。



はじめ、空は厚い雲で覆われていましたが、時間が経つにつれ、徐々に切れ目ができました。
よく見ると、その合間に星が。「あっ、見えた！」「あっちだよ！」と、子供たちは大喜び。
天体望遠鏡には、長い列ができました。



南西の空には、木星も見られました。
天体望遠鏡でも、はっきりと木星と土星を確認することができました。
本物の土星の輪を自分の目で見たときには、子供だけでなく、大人も感動しました。



自分で持ってきた望遠鏡や、星座の早見表を使って観察する子供も見られました。
お友達と話し合って書き込んだり、説明を聞きながら星を探したりと、楽しい姿がたくさんありました。



終わりが近づくころには、真上に、こと座のベガと、はくちょう座のデネブが見えてきました。
大人たちが一斉に空を指さすと、子供たちは、まだ薄く広がる雲のすき間に目をこらしました。
そして、夏の大きな三角形を見つけると大興奮！歓声があがりました。



暑いなか、冷たい飲み物も用意していただき、子供たちはとても喜んでいました。
夏休みの最後に、お友達や家族と星のことを学ぶ、貴重な体験ができました。
練馬の星空を楽しむ会、そしておやじの会のみなさま、楽しい時間をありがとうございました。